

輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上~川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

新川森林組合 森林作業員

板倉 竜二さん

今回ご紹介するのは、新川森林組合で間伐チームの班長として活躍する板倉竜二さんです。搬出間伐の作業で忙しい中、笑顔で対応してくださいました。



いたくら りゅうじ
板倉 竜二さん

平坦な現場で足が重く、辛い仕事だと感じ、慣れるまでに数年かかったそうです。

しかし、仕事の疲れが全く取れず、休日は寝ているだけだった飲食業の時に比べ、森林組合に勤めてからは、体の疲れはあるものの、休めば取れる疲れで、健康になった、と笑って答えてくれました。

2 森林組合での業務

就労後は造林の作業員として働いておられましたが、新川森林組合に高性能林業機械が導入され、その担当チームに配属されてからは、主に高性能林業機械のオペレーターとして業務に携わっておられます。

オペレーター



板倉さんの機械操作技術に高校生も拍手喝采！

現在は間伐チームの一員として、新川森林組合の木材生産の要となっています。

3 仕事への思い

森林への思い入れがあつて就労したわけではない板倉さんですが、今は整備した森林を見ると綺麗になって良かつたと感じるそうです。また、奥山の放置人工林の整備やクマが里に下りてこないような森づくりの必要を強く感じていること。また、高校生の林業体験では体験活動だけではなく森林全体を広く見てもらいたいことなど、森づくりへの思いも聞かせいただきました。

作業班長として気をつけていることをお聞き

したところ、

「森林整備の一つ一つの作業は個人作業だが、整備はチームで取り組むものなので、コミュニケーションが大切。上手い人もいれば、慣れていない人もいる。相談したり、他の人の目線で見たりして、手間がかかっても安全な作業に努めている。」

と、頼もしい言葉が返ってきました。

現在は新川森林組合作業員会の二代目会長としても信頼の厚い、板倉さんの益々のご活躍を祈念します。

文責 新川農林振興センター 林政・普及班

板倉さんは、昭和47年生まれの49歳。前職は飲食業で、約9年務められたそうです。県外からヒターンした後も飲食業で働いていましたが、子どもの顔を見る時間もない生活に疑問を抱き、30歳を契機に新しい仕事に就くことを決意。

林業については、テレビで見た程度の知識しかなかった板倉さんですが、森林組合作業員との出会いから、どんどん拍子に就労に至りました。

就業当初の頃は、作業終了後に、道沿いの